千葉県中核地域生活支援センターニュースレター　第９０号（令和元年５月発行）

ちばの地域福祉

中核地域生活支援センター大会ｉｎ２０１９
社会的孤立から共生へ～犯罪・非行の向こう側に見えて来るもの

中核地域生活支援センター大会
実行委員長　菊地　謙

２０１９年８月２日（金）、千葉県教育会館大ホールで【中核地域生活支援センター大会ｉｎ２０１９】を開催します。

これまで中核地域生活支援センター（以下、中核センター）大会では、生活困窮者に対する支援、子ども・若者への支援、我が事・丸ごとの地域づくり、変容する家族の支援など、制度の狭間に置かれていた方たちへの取り組み、新たな地域づくりの仕組みなど、先駆的に情報を発信し、課題提起をしてきました。

今年度のテーマは『社会的孤立から共生へ～犯罪・非行の向こう側に見えて来るもの』です。中核センター事業の大きな特徴として、対象を限定しない包括的相談支援活動があげられます。平成 16 年の事業開始からこれまで、制度の狭間に置かれた人のニーズや複合的な課題を抱える家族全体への支援などに対応してきましたが、中でも犯罪や非行などを行った人について、警察、検察、矯正施設、弁護士等より依頼を受け、相談・支援を行う機会が数多くあります。特に、地域とのつながりが途切れ、社会の中での「居場所」や「出番」がないことから短期間に再び罪を犯す人や、住むべき場所や頼るべき親族がなく、様々な問題を抱え、生活基盤の整備を図らなければならない人の支援は、中核センターとしても大きな課題の一つです。特に満期出所者などのうち、地域とのつながりが途切れた状態で社会に復帰する人たちについては、支援のニーズがあっても中核センターも含めどの相談・支援機関につながっていないケースが存在することが考えられます。

昨年度より千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会は、千葉県が行う「地域再犯防止推進モデル事業」の中で、県内の支援体制づくりに向けた事例の提供や実態調査への協力を行っています。そのため、今年度の大会は、「千葉県地域再犯防止推進モデル事業」の啓発フォーラムも兼ねて行うこととなりました。

大会では、犯罪・非行を行う人の状況や支援のあり方について、千葉大学大学院専門法務研究科教授の後藤弘子さんから、孤立化など犯罪が起こるプロセスや再犯防止の施策、専門家の支援の在り方、今後必要な制度等についてご講演をいただくとともに、後半のシンポジウムでは、犯罪・非行を行う人の背景や具体的な支援について、関係機関から実践報告と問題提起を受け、今後の取り組みの方向を探っていきたいと考えています。

これまで犯罪や非行を行った人の支援に各分野で携わっている行政関係者や司法関係者等の方々のみならず、この問題に関心を寄せていただける多くの皆さま方のご参加を心からお待ちしています。

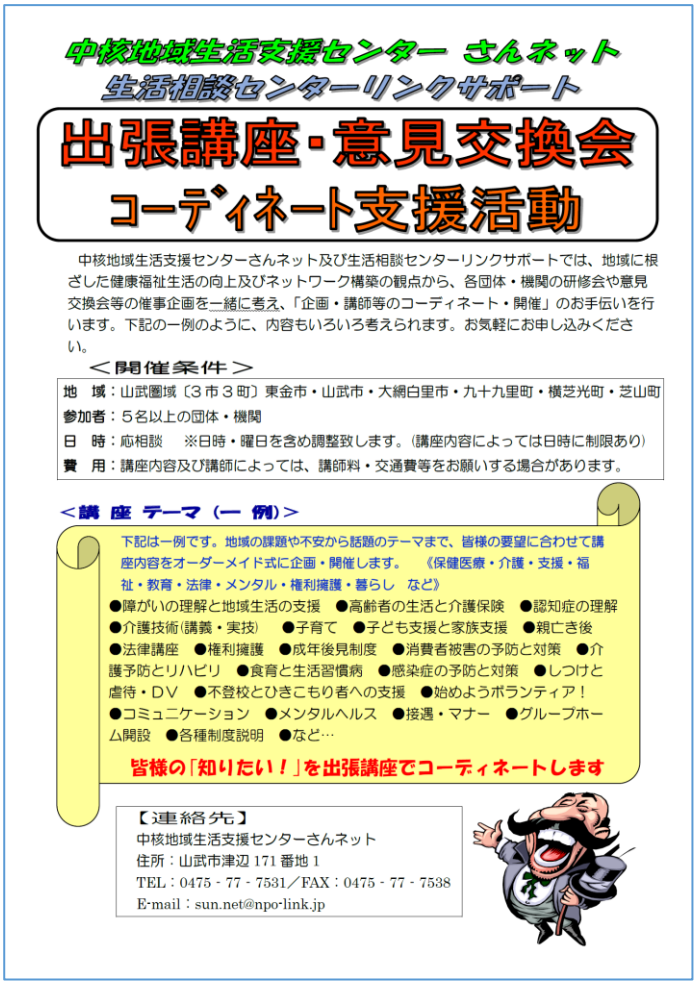
『さんネット』の地域づくり(山武圏域)

「人財の活用とネットワークによる社会資源づくり」

当事業の役割である「広域支援」「地域の福祉力向上」の実践で中核地域生活支援センター（以下、中核センター）ができることは、建物を作るような社会資源づくりではなく、①地域住民や関係機関等の人材育成・支援を行うことで、「人財」と化していくことを支援すること、また、②人財同士・機関同士のネットワークを広げ、チームケアを強化することだろうと考え活動を展開しています。今回は、一例として下記の２つの活動をご紹介します。

1.「出張講座・意見交換会」

一般的に、関係機関が開催する催事は、主催者が対象者を決め、その人たちに有益な講座を考え実施します。しかし、行きたくても行けない人もいます。そこで、５名以上の地域の活動団体や関係機関が知りたいことや問題になっていることについて、講座等の内容を一緒に考え、講師や内容をコーディネートする活動を 10 年前から行っています。昨年度は、20 件以上のご依頼を頂き実施しました。その際の講師は、極力地元の人材に登壇いただけるよう調整し、地域の人的資源の活用を意図的に行っています。



2.「第２回山武がつながる相談支援ネットワーク交流・研修会」

様々な制度が創設されるたびに、相談機関・窓口ができ、相談者からは、「どこに何を相談したらいいのかわからない」という声聞こえてくる。支援機関間からは「対象者や支援内容は、どんな支援をしているかわかりにくい。」という声も聞こえてきました。そこで、協力者を募り実行委員会を組織し、地域共生社会及び山武地域における相談支援機関が丸ごと学べる研修会を開催しました。研修終了後、「今後も有志が集まれる機会を作ろう！」という声が上がり、山武の地域を良くするための「山武がつながるネットワーク」活動団体が誕生しました。

＜第２回山武がつながる相談支援ネットワーク交流・研修会＞

日　時：平成 30 年 11 月 28 日　10:00～16:40
場　所：山武健康福祉センター　参加者：114 名
第１部：基調講演「地域共生社会を本気で考える」
　　講師：順天堂大学スポーツ健康科学部先任准教授 松山毅 氏
第２部：「私の知らない相談機関～多分野の相談機関を学び合おう～」
13 名のナビゲーターによる各分野の相談機関(40 事業)の説明
第３部：相談支援機関同士がつながるためのディスカッション

『すけっと』の地域づくり(印旛圏域)

いんば圏域福祉関係者合同研修会をとおした顔の見える関係づくり

印旛圏域は、成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町の７市２町からなる人口が70万人を超える圏域です。都心へ勤める方のベッドタウンと農業地域が混在しています。

また、成田空港もあり外国人の方が多く暮らしている地域でもあります。

すけっとの事務所は佐倉市にあります。昨年11月に京成臼井駅近くに引っ越しました。新しい連絡先は文章の終わりに記載いたします。

すけっとでは、地域づくりの一環として、圏域内の障害・高齢・生活困窮・行政などの相談支援担当者を対象に合同で研修会を開催しています。この会は支援者同士、顔の見える関係を作ることを第一の目的にしています。当初は障害の相談支援事業所の集まり・研修会から始まったものでしたが、地域の実情や、様々な相談機関が整備されて、業務理解と連携が必要になった事をふまえ、対象を広げました。そして、この会はニーズに合わせた研修を開催するため企画や運営も相談支援機関の方と一緒に行っています。

第10回目の前回は「司法と福祉の連携を深める合同研修会」と題し、千葉県弁護士会佐倉地区の７名の方にも参加・ご協力いただき、講演と事例検討を行いました。

当日は総勢65名の参加がありました。講演後の事例検討では各グループに弁護士が入り、活発な意見交換がされ議論が盛り上がりました。日頃、弁護士との関わりが少ない参加者からは、「事例を通じて具体的な支援や協力・連携のイメージができた」、また、弁護士からは「法曹界にも福祉につなげたい事案が多くある。地域の相談支援者の意見を聞けた事、顔が繋がった事は良かった」などの意見を聞くことができました。今後も地域の皆さんと協同して開催していきます。

地域には、8050やひきこもり、犯罪を繰り返してしまう方、在留資格や国籍の問題を抱えた方への生活支援など簡単には解決できない課題が多くあります。

そのため、福祉関係者の顔の見える関係作りだけではなく、今回の研修のように業種が異なる方との関係作りも進められるように、皆さんと活動していきたいと考えています

いんば中核地域生活支援センター「すけっと」
新 住 所：佐倉市王子台1-14-12　スズノキビル１階
新連絡先：℡043-308-6325　FAX：043-460-9045

分野横断鉄道[動物]

教育　医療　雇用　司法　住居　消費　国際

私たち「NPO 法人　犬と猫のためのライフボート」は殺処分されてしまう犬猫の救護活動を行う団体です。

<コンセプト>　まずは「助けやすいところから助ける」というレスキューの原則で、子犬子猫を中心に保護して、一頭でも多く、一日でも早く新しい飼い主さんにもらっていただくことが活動のコンセプトです。柏市内の保護施設にはピーク時３００頭を超える動物たちを保護しています。施設では動物の飼育管理はもちろん、併設した動物病院でワクチン接種や不妊手術など最低限必要なことを済ませた上で新しい飼い主に譲渡しています。こうして保護・飼育管理・医療・譲渡・飼育相談までを一元的に行っています。

<実績>　理想と現実をつなぐ有効な活動モデルを作れたことで多くの方に応援していただけるようになり、18 年間の活動を通して１万７千頭を超える犬猫を救うことができました。現在でも年間１０００頭を超える救命を行っています。

NPO 法人犬と猫のためのライフボート　理事長　稲葉友治
https://www.lifeboat.or.jp/

雇用　医療　教育　動物　国際　消費　住居　司法

ちば・地域発　～県内ア・ラ・カルト～

中核地域生活支援センター大会 in ２０１９
「社会的孤立から共生へ～犯罪・非行の向こう側に見えて来るもの」

●内容：基調講演
『犯罪・非行の実態とその背景（仮）』　講師　後藤弘子氏（千葉大学大学院専門法務研究科教授）
報告　『中核地域生活支援センター活動白書２０１８』　『千葉県地域再犯防止推進モデル事業』
シンポジウム　『社会的孤立から共生へ』
●日時：２０１９年8月2日（金）１０：００～１６：００　●定員：５００名　●参加費：８００円
●会場：千葉県教育会館大ホール（JR 千葉駅２０分　JR 本千葉駅１２分　JR 京成千葉中央駅１２分）
●主催：　千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会　●共催：　千葉県
●お問い合わせ先：まるっと　℡ ０４７－４０９－６１６１　FAX ０４７－４０９－６１６２

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会
事務局：がじゅまる（市川圏域）市川市大洲１－１４－４
TEL０４７－３００－９５００　FAX：０４７－３００－９５０９
編　集：海匝ネットワーク（海匝圏域）旭市ロ－８３８
TEL０４７９－６０－２５７８　FAX：０４７９－６０－２５７９